

後期臨床研修プログラム

【泌尿器科】

■目的

泌尿器科医としての基本的な知識、手技、手術を身につける。

■一般目標

初期臨床研修における泌尿器科での研修内容はⅠ：泌尿器科的基本手技の修得、Ⅱ：泌尿器科的救急疾患の対応を中心として行うものとする。

■行動目標

- (1) チーム医療。
- (2) 身だしなみ、言葉遣い、患者とのコミュニケーション
- (3) 患者の重症度の把握、上級医との連携
- (4) 診断、治療の流れ、患者の全体像の把握
- (5) 他科との連携

■研修カリキュラム

《第1年次》

泌尿器科医の基礎知識修得の為、外来診療の実際を見学し、外来患者への対応を学ぶ。膀胱鏡、尿道撮影、I.V.P. 尿路及前立腺超音波検査、逆行性腎盂造形、ステント挿入等頻繁に行われる検査を見学・実施し、検査の実際を学ぶ。入院患者の対応、術前術後の注意事項・処置・輸液などの基礎知識の習得に努めESWLに関しての知識を修得する。

《第2年次》

小手術の術者・大手術の助手を務め、手術の実際、ESWLの習得にあたる。1年次で学んだ検査を自分で施行する。文献検索・症例統計など学術関係の基礎を学び、学会において症例発表を施行する。

■カンファレンス

入院患者の検討会 月曜日（約1時間）
手術患者、入院・外来を問わず必要な患者についての検討は適宜行う。

■学会活動

日本泌尿器科学会総会（全員参加）
日本泌尿器科学会東部総会
日本癌治療学会
日本泌尿器科学会栃木地方会（年3回） 原則として年2回は演題提出
日本泌尿器科学会群馬地方会（年3回） 原則として年2回は演題提出

